



2017年（平成29年）2月16日

3月5日（日）初列車から 相鉄本線（星川駅～天王町駅間）の下り線を高架化 星川駅下りホームを高架上に変更

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）では、2017年（平成29年）3月4日（土）の最終列車後に相鉄本線下り線の線路切り替え工事を行い、天王町駅から星川駅を含めた周辺の約1.8kmの下り線を高架化します。これに伴い、3月5日（日）の初列車から星川駅の下りホームを高架上に変更します。

この工事は、交通の円滑化による都市機能の充実を主な目的として横浜市と進めている「相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業」の一環として行うものです。今回の下り線の高架化とダイヤ改正〔3月18日（土）、21日（火）に予定〕の実施により、区間内の踏切遮断時間の減少による交通渋滞の緩和、踏切利用者の利便性向上など大きな効果が期待できます。

今後も平成30年度の上り線高架化を目指して鋭意工事を進めると共に、「選ばれる相鉄グループ」、「選ばれる沿線」を目指し、相鉄線沿線の一層の発展のために貢献していきます。

概要は、別紙のとおりです。



下り線を高架上に切り替える星川4号踏切付近

1. 相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業の概要

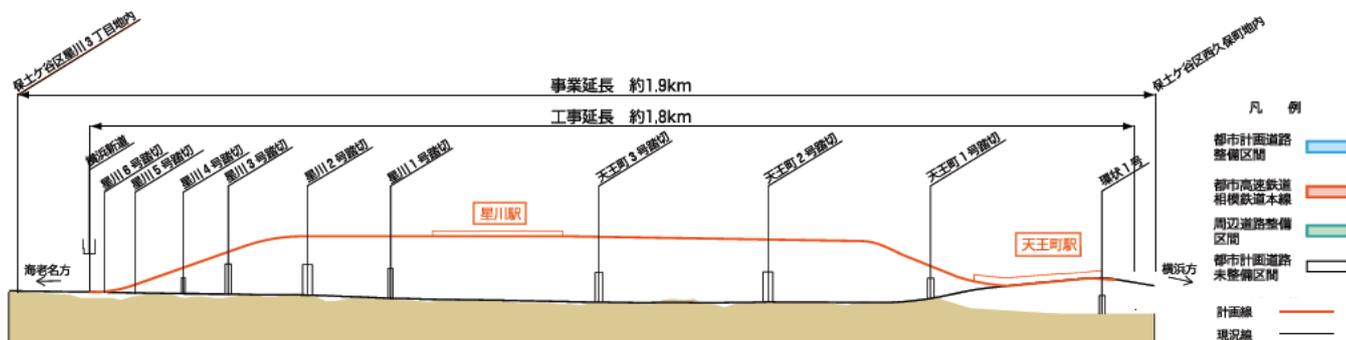
- (1) 事業名 相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業
- (2) 事業者 横浜市
- (3) 施行者 横浜市・相模鉄道株式会社
- (4) 工事延長 約1.8km
- (5) 経緯と予定
 - 都市計画決定 平成14年6月5日
 - 都市計画事業認可 平成14年9月13日
 - 下り線高架化 平成29年3月5日（予定）
 - 上り線高架化 平成30年度（予定）

2. 下り線切り替え工事の概要

- (1) 切り替え区間 天王町駅付近～星川6号踏切付近
- (2) 下り線が 1駅（星川駅）
高架される駅

※荒天等の場合は、3月11日（土）に切り替え工事を行い、12日（日）初列車から下り線を高架化し、星川駅下りホームを高架上に変更

3. 概要図



SOTETSUあしたをつくるPROJECTとは

相鉄グループ創立100周年とその先の都心直通運転に向けて、沿線内外の方にもっと相鉄グループのことを知っていただき、もっと親しみを感じていただくためにグループ各社や沿線事業者、沿線住民を巻き込んで、「住みやすい沿線になるための活動」と「JR・東急線相互直通運転のメリット」を発信していく取り組み。